

意思決定支援スキルアップ研修 -選好の記録化と共有研修のご案内-

1月28日(日) 豊田市 対面, 2月4日(日) オンライン

選好の記録化と共有研修って? (研修の概要)



- 身体機能、認知機能の障害により、話すことが難しい場合であっても、さまざまな形でその人の選好(プレファレンス:好き・嫌い・快・不快の表現、表情、姿勢、視線等、その人から滲み出るもの)が表現される場合があります。
- 目の前の人の意図的な、意図的ではない「選好」に基づく最善の解釈をしていくためには、みんなでいかに情報収集し、共有できるのかが重要です。さらにいえば、それを蓄積、更新していくことも不可欠です。
- そうしたことを実際に現場でやっていく際の考え方やコツについて知る実践的な研修です。

どんなことがわかる?



- 講義を通じて、なぜ「選好」を記録していく必要があるのかがわかります。
- ご本人、ご利用者から表現される、好き・嫌いや思いを大切にしながら、支援を考えていくやり方がわかります。
- ご本人、ご利用者が表現した「選好」を日頃のかかわりの中で活かして行く際の考え方を事例なども通じて学ぶことができます。
- 本人を取り巻く周囲の人が、「選好」をどう共有していくかを考える機会を提供します。

研修でどんなことするの?

- 講義
- 好き嫌いを考えるワーク
- 仮想記録から選好について考えるワーク

